

NPO法人ありんこ公式ホームページ

arinngo.sakura.ne.jp

右のQRコードを読み込むと、ホームページを閲覧できます。



ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部

編集責任者 一戸 由佳

住所 青森県弘前市大字富栄 字笹崎80-1

電話 0172-96-2774

Fax 0172-55-9591

「求人説明会・ミニ面接会」に参加しました

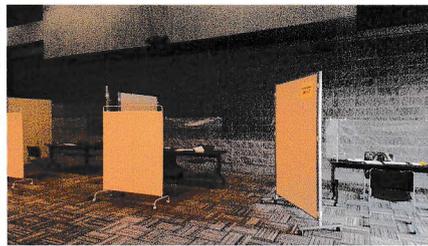
令和3年1月27日(水)ヒロコで開催された求人説明会・ミニ面接会に参加しました。欠員の補充のため、昨年9月からハローワークで求人募集を継続していますが、これまでなかなか応募がありませんでした。

そこで、「令和2年度青森労働局委託事業」である求人説明会の案内を受け、初めて参加することにしました。このイベントは実は、前回11月実施分も案内があり、それに向けてプレゼンの準備を行っていたのですが、青森県内、弘前市内の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当日参加する予定だった各事業所が参加を辞退し、参加希望が私たち1団体となったため、検討の結果参加を見合わせたのです。

今回そのスライドを大幅に手直して、法人や事業所の魅力をできるだけ伝えるようにしました。

前半の求人説明会は各法人15分ずつ、会場の約20名の参加求職者に向けて行いました。皆さん熱心にメモなど取りながら聴いてくれたように思います。主催者の方からも「皆さんに思いが届いたと思いますよ。」と言ってもらって少しほっとしました。

休憩を挟み3ブースに分かれてのミニ面接会は、私には初めての経験でしたが、説明会参加者のうち、面接を希望する求職者がそれぞれ希望のブースに分かれて担当者から話を聴くというものでした。写真のように密を防ぐ空間で、会場のドアもすべて開放して距離をとって行われました。ありんこのブースには4名の求職者の男女が訪れ、求人票と照らし合わせながら気になるところを確認していました。



私自身このような説明会に参加するのは初めてでしたが、今後も共に働く善い人材に出会い、良い縁を結ぶため、いろいろな働きかけをしていきたいと思っています。

理事長のつぶやき

「習うより慣れる」とはいうものの…

先日、法人での今シーズン2回目のインフルエンザワクチン接種が始まりました。

例年1回目を10月から11月にかけて接種し、効果の薄れてくる春に安心して支援に当たれるように、1月にも接種をしている。

今年は新型コロナウイルス感染症の猛威に、季節性のインフルエンザは影を潜めているが、今後コロナの感染が少しずつ終息して下火になった頃、変なタイミングでインフルエンザの流行があったりすると大変だ。春は卒業や入学など、人生の大きな節目行事も多く、この時期になるべく感染を抑えなければならぬ。

前置きは長くなったが、そのワクチンを私も打たせてもらうことができた。

准看護師として、日々の医療的ケアは少しずつ現場に出て実施できているが、病院ではないので注射はしない。

一昨年は夫である院長の腕を借りて1度だけ。昨年は夫と知人の2回。

ところが今年、管理者の棟方さんが、10年目にしてはじめての「頼みがある」と。何のことかと思いきや、「わざわざ注射打ってけ」とのこと。

「え〜」動揺する私に、「経験積まねばうまくなんね」そんなわけで、もの凄く緊張し、挙動不審を周囲に笑われながら、何とか無事に？打つことができた。その話を聞いた副施設長の愛美さんまで、「じゃあ、私も打ってもらおうかな」と。

私的には少し落ち着いたかと思っていたが、本人いわく「注射は普通だったけど、動きが変で、いつ打つかわからなくてだんだん緊張した。」とのこと。

年に数回の注射経験。果たして慣れる日は来るのか。

タオル類寄付プロジェクト 第2弾

会員の皆様にはいつもたくさんのご支援をいただきありがとうございます。そのうえでこのようなお願いをするのは心苦しいところもあるのですが、前回のプロジェクトでいただいた皆様からの善意のタオル類。日々の事業所の活動により、だいぶぐたびれてきてしまいました。特に昨年以降のコロナ禍で、いろいろな物や場所の消毒、清掃の機会が多くなり、加えて手洗いの頻度も増え、タオル類の活躍する場面がととも増えたのです。

そのようなわけで、この度、第2弾の「タオル類寄付プロジェクト」を実施することになりました。以下のタオルを希望いたします。

- ① 入浴用(バスタオル・フェイスタオル)
- ② 食事・おやつ用(ハンドタオル・おしぼり)
- ③ 清掃や消毒用(フェイスタオル)

タオル類の色や柄は問いません。社名などがプリントされていても構いません。

もし、ご自宅などに余っているタオル類がございましたら、ぜひ寄付をお願いします。

※ 寄付の受付先

NPO法人ありんこ・児童デイサービスやよいのあかり(タオル類寄付プロジェクト係)
〒036-8382

弘前市大字富栄字笹崎80番地1

お問合せ連絡先 Tel. 0172-96-2774

津軽地域医療的ケア児支援体制検討合同会議

表題の合同会議は昨年度まで青森県が運営していた会議を今年度以降市町村の広域の連携組織として合同で運営していくというもので、今回初の会合でした。

津軽地域市町村の医療、保健、福祉及び教育等の関係団体、医療的ケア児の親の会等の関係団体が出席し、弘前市のNPO法人銀河理事長の菊池健弥さんが座長となり会を運営します。

顔合わせとなった今回の会議では、各団体の自己紹介の後、情報や、課題、会議としてのゴールの共有について確認しました。

塵も積もれば！！

法人で回収しているリサイクル品の中に「しまむら」のレジ袋があります。これはどのサイズでも1枚1円で「しまむら」で引き取ってくれるのですが、これまで皆さんからいただいた袋がなんと115枚という驚異的な数字。無事に115円に換金されました。ご協力本当にありがとうございます。

法人ではアルミやスチールの缶類も集めています。缶は飲料用に限りです。サバ缶ツナ缶みかん缶などの缶は、綺麗に洗ったものでも回収できませんので、ご了承の上、引き続きご協力をお願いします。